



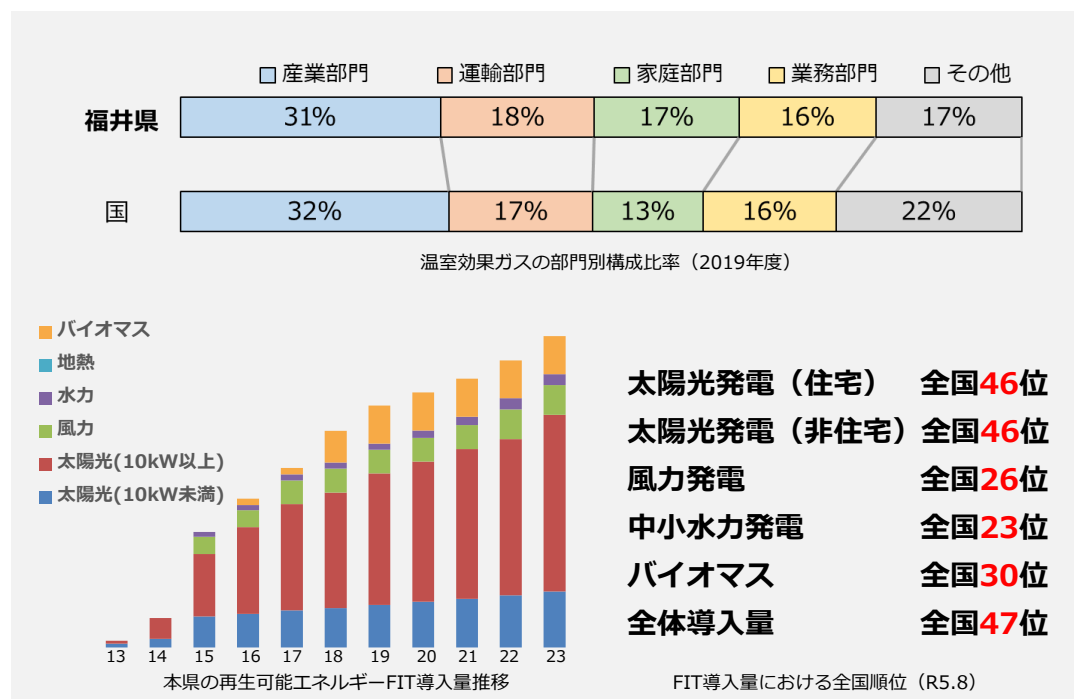
背景  
・  
課題

## I.カーボンニュートラルに向けた目標

- ・令和2年7月、国に先駆けて2050年カーボンニュートラルを宣言
- ・令和5年3月、「福井県環境基本計画」を改定し、高い目標を設定
  - ✓2030年度温室効果ガス排出量**49%削減**（2013年度比）
  - ✓2030年度再生可能エネルギー導入量**1.6倍増**（2020年度比）

## II.福井県の脱炭素化の現状

- ・企業（排出産業・業務部門）からの排出が**約半数**
- ・**家庭部門**の割合が全国と比較して高い（**エネルギー使用量トップクラス**）
- ・再生可能エネルギー導入量は年々拡大しているが**全国比較で最下位**



これまでの  
取組み

**産業・業務部門**

- ・企業の太陽光発電・蓄電池の導入支援
- ・企業の省エネ設備の導入支援
- ・エネルギー関連の技術開発の支援 等

**運輸部門**

- ・次世代自動車への乗り換え支援
- ・EV充電インフラの環境整備への支援
- ・公共交通機関の利用促進 等

**家庭部門**

- ・家庭での省エネ県民運動の展開
- ・省エネ家電への買替支援
- ・市町のスマートタウン整備の支援 等

これらの取組みに加えて、下記の視点が必要

事業の  
目的

**産学官金民の相互連携**

**地域に裨益する脱炭素化策**

**再生エネ導入量の拡大**



## ①福井県カーボンニュートラル推進事業

- ✓ 産学官金民が連携し「オール福井」で脱炭素化に取り組むため「カーボンニュートラル福井コンソーシアム」を設置(R5.11)
- ✓ 今後は、実務担当者によるテーマ別ワーキンググループ（オープンフォーラム）を実施。現場での課題解決を目指す



産学官金民連携コンソーシアム設立会議



R5年度より実施の表彰制度

## ②再エネ活用地域振興プロジェクト事業

- ✓ 県と市町が連携して地域の再エネ導入事業（小水力発電事業等）のハード費用を補助（経費の1/2、上限4,000万円）
- ✓ 発電事業者は、FIT売電収入の一部（補助金分全額）を地域振興策として実施することで地域に還元



おおい町南川での小水力発電事業



地域で制作されているフリーペーパー

事業  
内容

得られる  
成果

寄附を  
する  
メリット

## 得られる成果

- ① **脱炭素化** 2050年カーボンニュートラルへの貢献
- ② **再エネ導入拡大** 県内のクリーンエネルギーの導入量増加
- ③ **地域振興** 売電収入を活用した地域振興策
- ④ **つながり創出** 多様な主体によるビジネスマッチング
- ⑤ **新規事業創出** 産学官金の連携によるイノベーション

## 寄附をするメリット

- 福井県HP（カーボンニュートラルポータルサイト）でのご紹介
  - R6年度コンソーシアム全体会議での寄附企業様のご紹介
  - コンソーシアム テーマ別ワーキンググループへのご参画
- ⇒脱炭素事業への参画・貢献のPR、企業イメージの向上